

令和3年度事業報告書

1. 概要

わが国の高齢化率は、世界で例を見ない高水準となり、本市も団塊の世代が高齢期を迎え、国の水準を大きく超えて超高齢社会となっています。

一方、国においては、人口減少とそれに伴う生産年齢人口の減少に歯止めがかからない中、令和3年4月から改正高年齢者雇用安定法が施行され、65歳までの定年延長や継続雇用の義務化が更に70歳までの雇用延長が努力義務となったことにより、シルバー人材センターにとっては、会員減少傾向の解消がますます困難になる可能性が出てきています。

当センターの会員数は、令和3年度末で133人となり、3年連続で減少となりました。

こうした中、当センターは、請負事業・派遣事業の収益、市からの補助金、国からの交付金により運営をしております。

令和3年度の受託事業収入は37,326,779円であり、前年度比較で3,779,323円、11.3%の増となりました。

新型コロナウイルス感染症による経済活動の縮小が続いており、勝浦市をはじめとする公共部門では、若潮まつり、カツオまつり、ビッグひな祭りなどのイベント自粛や夏季海水浴場開設中止などが2年連続している中で、観光道路やおせんころがしなどの草刈清掃業務で前年度を上回る受注を得ていること、個人や事業者からの民間部門では、別荘・保養所等の清掃草刈業務などの受注が伸びており、過去10年間で最も多い受注額となりました。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、健康で働く意欲のある高年齢者に、地域社会に密着した臨時的、短期的または簡易な仕事を提供するとともに、地域の必要性に応じて派遣事業も実施し、シルバー事業の強化・拡充に努めました。

2. 事業実施概要

(1) 請負事業の提供

市内の高年齢者の生きがいと健康増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、勝浦市をはじめとする公共団体や民間事業所、個人から受託し、これを会員に請負の形式により提供しました。

(2) 労働者派遣による就業事業の提供

公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会と連携して、労働者派遣による就業機会の確保に努めました。

令和3年度においては、新たに1社労働者派遣を実施しました。

(3) 普及啓発

シルバー人材センター事業への信頼と理解が得られるよう市広報誌の活用、ホームページの運用及び会報の市内回覧等を通じて地域住民、事業所等に対する周知啓発を図るとともに、高年齢者の加入促進のための普及啓発に努めました。また、県連合会が主催する「施設クリーンスタッフ講習」

を総野集会所で開催し、当センターから10名の会員が参加し、技能習得に努めました。

(4) 安全・適正就業の推進

安全委員会及び安全・適正就業部会を開催し、安全・適正就業の推進を検討するとともに、「安全就業だより」を2回発行して会員への周知に努めました。また、就業現場の安全パトロールを実施し、安全意識の啓発に努めました。

(5) 地域環境保全活動への参加

毎年5月末に実施している「ゴミゼロ運動」に積極的に参加し、地域環境保全活動に貢献しました。

(6) 会員の増強

市広報誌、ホームページ及び会報を通じて、センターの事業活動に賛同し、健康で働く意欲のある会員の確保に努めました。また、市内公共施設や事業所、掲示板にポスター掲示することで会員の拡大に努めました。

(7) 諸会議の開催

センターの維持運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を次のとおり開催しました。

- ・ 定時総会 1回開催
- ・ 理事会 4回開催（第4回は書面決議）

令和3年度事業実績（前年度比較）

項目／年度	令和3年度	令和2年度	増 減	
			(件数・金額・人)	(%)
会 員 数 (人)	133	140	▲ 7	▲ 5.0
受 託 件 数 (件)	1,446	1,305	141	8.0
受託事業収入 (円)	37,326,779	33,547,456	3,779,323	11.3
内訳：公共 (円)	12,374,848	10,829,659	1,545,189	14.3
民間 (円)	24,951,931	22,717,797	2,234,134	9.8
就業延日人員 (人)	13,414	12,679	735	5.8
就業実人員 (人)	103	107	▲ 4	▲ 3.7
就 業 率 (%)	77.4	76.4	1.0ポイント	
派遣事業				
受注件数 (件)	3	3	0	0.0
契約高 (円)	1,769,200	1,396,982	372,218	26.6
就業延日人員 (人)	224	167	57	34.1

※派遣事業については、県連合会との契約のため、参考数値として表記した。